

2013 NICE にほんごスピーチコンテスト 準優勝 リスナ ヌルジャーさん（インドネシア）

『おんがく』

みなさん、こんにちは。

私は リスナ ヌルジャーと もうします。インドネシアから ことしの いちがつに にほんに きました。かぶしきがいしゃ たとすいさんの じっしゅうせいです。



こんかい、私は おんがくについて おはなし したいとおもいます。

みなさん、おんがくを していますか。もちろん しているでしょう。

せかいじゅうで すべての人は おんがくのことを していて、きっと きいたことも あると おもいます。

みなさんは おんがくが 好きですか。私は おんがくなら なんでも 好きです。おんがくをきくとか、うたうとか、ギターをひくとか、というように。

じょうず じゃなくても、それを たのしむのが 好きです。

おんがくは ふへんてきな げんごです。だれもが おんがくを りかいすることができるし、うけとることができるし、おんがくの そんざいを かんじることも できます。

そしてまた、おんがくで いろいろな かんじょうを ひょうげんすることができます。たとえば、よろこびと しあわせと かなしみです。こいに おちたときも ことばで つたえることが できない ばあい は うたで つたえることができます。そうじゃないの？

おんがくは 私たちの ころを みます。ただロマンチックでは ありませんが、それは しあわせな きもちを つくることができます。

もし、せかいでおんがくがなければ、さびしいですね。

おんがくは いのちの げんごです。おんがくで 私たちの かんじることは なんでも つたえることができます。

私は うれしいとき、シャワーを あびながら うたいます。もんだいが あるときも、ときどき うたいます。そのとき、私が きづきます。はんめいした、私の おとは 私の なや

みよりも わるいと おもいます。でも、私の おとが いくら よくなくても、おんがくは まだ たのしむことが できますよ。

私は かいしゃで だいたい おなじことを やります。まいにち おなじばしょで おなじひととおなじものと おなじしごととおなじことに あいます。ほかには ありません。

ときどき つまらなくなりますが、ですから、しごとのときも ときどき うたいます。でも、ちいさい こえで ゆっくり うたいます。ほかのひとに わからないように。それは ぜったい おじゃまするかも しれないので、たまに こころのなかで うたいます。

じつは そんなことは よくないんですが でも それをすると、きもちが よくなりますから。

みなさんは どんなとき、おんがくを たのしみますか。私のような ことを やるかな。

おんがくは きれいなことだと おもいます。はるに うつくしい さくらです。よるに うつくしい ほしです。あめあがり うつくしい にじです。ですから、私は ほんとうに だい好きです。まいにち ずっと たのしみたいです。

みなさんは おんがくについて なんとおもいますか。おんがくは いいでしょう。いつでも どこでも だれでも たのしむことが できます。ですから、みなさんも おんがくを たのしんで うつくしさを かんじましょう。

私から いじょうです。ごせいちょう ありがとうございます。